



<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

JANUARY 27 2022 NO. 2559

職業奉仕月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆	次週(2月3日)のお知らせ
1) 例会 (2559回)	1) 例会 (2560回)
2) ソング スキー	2) 国旗およびロータリー旗に礼
3) 卓話 「趣味『ボート釣り』」 山本 喬一 会員	3) ソング 君が代・奉仕の理想
4) 2月度定例理事会	4) 卓話 平和構築と紛争予防月間記念卓話 「私が現地で感じた風～カンボジア編～」 大阪天満橋ロータリーアクトクラブ 会長 今西 彩乃様 国際奉仕委員会

☆☆ 1月度の結婚記念日 ☆☆

溝手 悟 柳澤 興平 森本 成俊
西田 勤

(以上敬称略)

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

今週、1月17日には阪神淡路大震災から27年となりました。会員の皆様の多くもこの震災の影響を受けられた事かと思えます。先週の夕食は忘れても、この震災の日のことは今でも鮮明に思い出されます。関西地方は地震の少ないエリアでしたが「雷、火事、おやじ」で最初に「地震」と言われたのも良く分かる程、怖ろしく悲しい出来事でした。神戸も再開発が進み再興を迎えつつありますが、時の経過により、震災の体験の無い世代の方も増えてまいりました。改めて時々の教訓を風化させる事なく、良きも悪きも次世代に伝える事は大切であろうと痛感致します。

昨年末より再び変異株の感染拡大が急速に進み、また違った災いと対応にせまられます。今月から再開を予定しましたビアフレンド会、2月3日の新入会員歓迎会は大事をとり、改めての計画とさせていただきます。楽しみにご予約頂きました会員の皆様にはご容赦をお願い致します。今後も例会についてはできる限り開催の対

応を致しますが、皆様には体調不良などがあれば判断のもと休養など引き続き感染拡大予防にご協力をお願い致します。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①「望田 謙三会員・西田 勤会員・坂口 雅俊会員を囲む会」は延期とさせていただきます。
- ②「2021-22年度 下半期会費のお願い」をさせて頂いております。お振り込み宜しく願いいたします。
- ③本日例会終了後「第2回被選理事会」を3F「奈良の間」にて開催いたします。関係各位宜しく願いいたします。
- ④次週例会終了後「2月度定例理事会」を開催致します。本日ご案内させて頂いておりますので関係各位宜しく願いいたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

本日の卓話、私の友人の榊井さんにお問い合わせしました。宜しくお願いします。柳澤 興平 榊井様、本日はようこそお越し頂きました。

- | | |
|-----------|-------|
| 31カ年在籍自祝 | 寺杣 晃一 |
| 在籍表彰自祝 | 郡 悦清 |
| 5カ年在籍表彰自祝 | 荒木 幾夫 |
| 在籍2ヶ年自祝 | 御木 威 |
| 誕生日自祝 | 坂口 雅俊 |
| 誕生日自祝として | 大矢 平治 |
| | 吉村 圭太 |

☆☆ 出席報告 ☆☆ ()内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	0名	会員総数	43名	1月20日の出席率	78.38%
国内ゲスト	1名	会員出席	29名(37名)	5週間前(12月23日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	18名	メイクアップを含む出席率	83.78%
外国ゲスト	0名	会員欠席	8名	メイクアップ実施会員	0名(欠席者6名)

柳澤会員、本日の卓話楽しみにしております。
 中川 政照
 仲西会員、本日は男前の写真をありがとうございます。
 中川 政照
 令和4年1月20日 合計金 48,000円
 累計金 1,225,840円

☆☆ 先週(1月20日)の卓話 ☆☆

「歴史に学び、今を見つめ、明日へつなぐ」

— 社史・年史発刊の意義と使命 —

ブラスト主宰 榊井 耕一郎様

柳澤 興平会員紹介

社史や年史は今までの歴史を集大成し、記録するだけのものではありません。

高齢少子化による労働力の減少、AIやロボット化の台頭、コロナ禍による働き方改革…。これまでの経済成長を支えてきた枠組みが大きな転換期を迎えた今、私たちは何を糧として次代へ向かえばよいのでしょうか。しかし、このような事象は今に始まったことではありません。戦中戦後の混乱の時代、オイルショックやバブル経済の崩壊、大震災や数々の天災…。人々はつねにこれらの時代と対峙し、不透明な未知の未来に向かい、模索と挑戦を繰り返しながら明日を切り拓いてきたのです。

近年、社史に対する考え方が大きく変化しました。企業の周年を機に今後の経営戦略の一環ととらえ、さらなる事業発展に資するための社史の発刊が求められています。

●「歴史に学ぶ」=創業の精神をはじめ、さまざまな時代背景の中で先人たちが果たしてきた挑戦や決断の思念を検証することにより、その意義と価値を学ぶ。

●「今を見つめる」=企業を取り巻く今の社会的環境を知り、歴史によって培われてきた独自の価値観(企業文化・アイデンティティ)のもと、現状の課題を認識する。

●「明日へつなぐ」=周年を機として自社独自の価値観を共有し、モチベーションの高揚を図り、新たな成長に向けた“きっかけ”をつくる。

未来は突然やって来るものではありません。企業文化やアイデンティティは、これまで果たした数々の挑戦や決断の積み重ねから育まれます。変革の時代、それぞれが個性的で特色のある歴史を今一度顧み、それを“原動力”として明日の時代を拓く。これが社史・年史に与えられた意義と使命であると考えています。

☆☆児童院クリスマス会☆☆

12月24日(水)大阪市立児童院にてクリスマス会が開催されました。昨年に続きコロナ感染症の予防により院内児童だけによるクリスマス会となりましたので参加はかないませんでした。クリスマスプレゼントをお届けいたしました。後日、子供達より感謝のお手紙が届きました。

社会奉仕委員会



☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

鯛のタルタルポーチド・エッグとアブリュガのミモザ風
 サフラン風味のヨーグルトマヨネーズ
 牛フィレ肉のポワレ茸のガトー仕立て、
 ピノ・ノワールソース
 ストロベリーココナッツ ティラミス
 コーヒー又は、紅茶
 バゲット、胡桃入りソフトロールとバター

「スキー」

時雨音羽作詞・平井康三郎作曲

山は白銀(しろがね) 朝日を浴びて、
 すべるスキーの風切る速さ。
 飛ぶは粉雪(こゆき)か 舞い立つ霧か。
 おお お この身もかけるよ かける。
 真一文字(まいちもんじ)に 身をおどら
 せて、
 さつと飛び越す飛鳥(ひちよう)の翼。
 ぐんとせまるは、ふもとか 谷か。
 おお おお 手のしや 手練(しゅれん)
 の飛躍(ひやく)。